

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	01	194010	消防・救急救助充実強化事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		60,402	28,475		-31,927
財源内訳	国費	33,674	0		-33,674
	県費	0	0		0
	地方債	1,500	0		-1,500
	その他	0	0		0
	一般財源	25,228	28,475		3,247

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
迅速な救命、救助活動を行うため、救急救助体制の充実強化を図る。

事業開始の背景・経緯
救急需要の増加に伴い救急隊の拡充や中部医療圏以外へ搬送体制が必要であり、また多種多様な災害に対応するため、消防職員に高度な消防・救助技術を取得させる必要がある。

事業概要
救急体制の整備 13,488千円 学校教育研修、各種講習会、災害対応訓練への派遣及び救急救命士新規養成と救急救命士病院実習 救急活動用装備品の整備 救急医療機器の保守管理 各種災害を見据えた災害対応力の強化 14,987千円 学校教育研修、各種講習会、災害対応訓練への派遣 消防業務遂行のための免許・資格取得 消防、救助活動用装備品の整備

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	八重樫 晴彦
------	--------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
消防・救急救助充実強化事業 28,475千円
1. 救急体制の整備 13,488千円 (1) 学校教育研修、各種講習会、災害対応訓練への派遣 及び救急救命士新規養成と救急救命士病院実習 4,797千円 消防学校等研修への派遣（消防学校救急科4人） 救急隊員講習への派遣（各種学会等2人） 救急救命士養成研修と病院実習（養成研修1人、各種病院実習等24人）
(2) 救急活動用装備品の整備 7,689千円
(3) 救急医療機器の保守管理 1,002千円
2. 各種災害を見据えた災害対応力の強化 14,987千円 (1) 学校教育研修、各種講習会、災害対応訓練への派遣 4,403千円 消防学校研修への派遣（初任科6人、警防科2人、救助科3人、上級幹部科2人、初中級幹部科2人） 消防隊員、救助隊員講習への派遣（各種研修会等2人）
(2) 消防業務遂行のための免許・資格取得 635千円 各種免許資格取得 6人
(3) 消防、救助活動用装備品の整備 9,949千円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	01	194020	応急手当普及事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		771	256		-515
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	771	256		-515

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度 ~ 令和2年度
------	-------	------	---------------

部重点施策における目標  
 迅速な救命、救助活動を行うため、救急救命体制の充実強化を図る。

事業開始の背景・経緯  
 救急車が到着するまでの間に、家族等による応急手当が重要となることから市民に普及指導するとともに、救急車の適正利用に向けた広報等を行い、救急体制について理解を促す必要がある。

事業概要  
 市民及び事業所等を対象とした応急手当講習の実施 173千円  
 応急手当講習用資器材の充実 83千円

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	八重樫晴彦
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1  
 応急手当普及事業 256千円  
 1. 市民及び事業所等を対象とした応急手当講習の実施 173千円  
     一般講習 91回、入門コース 18回、普通救命講習 9回、上級救命講習 2回  
     上級救命講習 2回、実技救命講習 1回  
 2. 応急手当講習用資器材の充実 83千円  
     AEDトレーナー1台更新